

よくある ご相談と その対応

【事例⑨】 クラスで孤立する。

NG対応

1、「人の気持ちを考えて」などと繰り返し言う。

- ・相手の気持ちを読み取れない子どもは、相手の表情を読み取ったり、状況の変化を理解したりすることが苦手です。「もっと人の気持ちを考えて」とか、「お友達への思いやりをもちましょう」と言われても、具体的に どうしたらいいのかがわかりません。

2、注意したり教え込もうとしたりする。

- ・場の空気が読めない子どもを その度に注意すると、他の子は「あの子は、先生を困らせるような子なんだ。」と覚えてしまいます。

GOOD対応

1、その子の得意なことを活かす。

- ・自分の発言や行動によって相手に嫌われたり、場の空気が悪くなったりした時、本人には どうして そうなってしまったのかを理解するのが難しいので、よくトラブルになってしまいます。そのため、あの子には近寄らないようにしようという雰囲気になってしまいがちです。そこで、その子の得意な物を取り上げ、みんなから一目 置かれるような存在にしてあげます。「漢字」が得意なら「漢字博士」に仕立てるとか、「遊戯王カード」が得意なら「カード・チャンピオン」に仕立ててあげればいいのです。

2、本人に対して、「それは、嫌だ。」ということを伝える。

- ・クラスメイトに対して、本人が嫌なことを言ったり行ったりした場合は、本人に対して「困る」、「嫌だ」とはっきり伝えるように指導します。ただし、穏やかに伝えることも指導します。「〇〇してくれたら いいと思う。」「〇〇のように言ってね。」などと、肯定的に伝えるようにさせます。

3、日頃から、SST（ソーシャル スキル トレーニング）カードや表情カード等を使って、適切な行動を学習させる。

- ・発達障害があると、当たり前のように自然に身につけていく社会性を獲得することが困難になります。そこで 本人が落ち着いている時に、普段 起こりそうなトラブルを想定した対処法を身につけさせておきます。人は そういう状況の時に こんな気持ちなんだとか、こんな表情をしている時は、そんな感情を抱いているんだということを読み取る練習をさせます。

4、人との距離の取り方を学習させる。

- ・「友達と話す時は、手を前に出して相手に ぶつからない距離で話すんだよ。」などと、具体的に指導します。